

事務事業名		伊那谷文化史資料展示公開事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		美術博物館		事業種別	政策	開始	1 終了		
H28係等名		学芸係		H27係等名		学芸係			
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
		施策	29	ふるさと意識の醸成					
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民 2 学芸員の調査・研究活動			対象指標	指標名及び単位		27年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 特別展の開催を通じて、自然や文化・芸術に対する関心を高め、新たな知識や感動を提供する 2 調査研究活動の内容を地域に還元する				圏域住民数(人)		165162	
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	特別展等館主催展覧会の観覧者数(延べ人数)			7000	7000	7000	-	
	成果指標	企画展示(特別展・企画展・特別陳列)の開催数			3	3	2	-	
	定性目標								
事業概要	1 本事業は、伊那谷の歴史・文化・民俗に関わる特別展・企画展・特別陳列など企画展示と、人文常設展示、およびロビー展示とからなる。								
	2 主に「伊那谷文化史資料調査研究保管事業」の調査・研究活動の成果に基づきながら、展示あるいはそれに伴う図録や講演会・講座などによって公開する。								
事業内容				名称			活動指標		
27年度事業内容	1 企画展示			1 企画展示開催数			1 3回		
	(1)特別展「信州の祈りと美」 会期:平成27年10月10日～11月8日			2 図録・リーフレットの刊行数			2 3件		
	(2)特別陳列「飯田下伊那地方の考古学最前線」 会期:平成27年10月3日～12月13日			3 人文常設展示の更新個所数			3 2カ所		
	(3)企画展「飯田城とお練り祭り」 会期:平成28年3月12日～4月17日								
2 図録・リーフレットの発刊									
3 人文常設展示									
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		7,940	10,025	9,861	6,447	(国)社会資本整備総合交付金(市街地整備)(4.5/10)			
国庫支出金		1,444	2,907	2,907	1,764				
県支出金									
起債									
その他									
一般財源		6,496	7,118	6,954	4,683				
人件費計(千円)②		3,218		0					
正規職員所要時間		900							
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		11,158	10,025	9,861	6,447				
事業内容・目標達成状況の振り返り		一般に関心の高い煙火をテーマに取り上げたが、思うほどに観覧者が伸びなかった。祭りの楽しみが直ちに展覧会の観覧に結びつかないことを示しており、展覧会に招く工夫が足りなかった。恒川官衙遺跡が国史跡になった時機を捉えて展覧会を企画したが、一般には少し難解な展示となってしまった。							
改革改善の考え方	①問題点	広く市民の関心を喚起する企画や広報活動が弱い。							
	②改革提案	南信州の偉人をテーマとした特別展を開催し、郡展にあわせて小中学生の見学を働きかける。							